

7～9月のピックアップ

『城を巡る！』

皆さん城というと、どんな城をイメージされますか？石垣と白壁の美しい天守閣をもつ城、うっそうとした木々に埋もれた城跡、あるいはグリム童話に出てくるようなファンタジックな城やヨーロッパの中世の面影を残す古い町でよく見られるような、町全体を取り囲む城壁をイメージされるかもしれませんね。

城は、その昔身分の高い殿様や奥方が住む立派な御殿だったり、また敵から守るための軍事的な要塞であったり、政治を行う「政庁」であったりと、その時代、地域、技術の発展によって随分いろんな城があるのです。日本のみならず、世界各国では城が町を造り、長い時間をかけてその町の産業、文化や芸術を育んできたのです。ですから城と都市の発展とは、親密な関係にあります。

ここに日本国内外の城に関する本をピックアップしてみました。これらの本を読むだけでも実に色々な城があり、いろいろな地域の風土、歴史、人々の暮らしを知る事ができます。何か新しい発見があるかもしれませんね。皆さんの住んでる町や故郷の魅力を再発見するかもしれません。どうかこれらの本を読んで皆さんの旅行などの参考に、または、地域研究などに是非お役立て下さい。

情報サービス課 栄 咲子

インターミッション17

Perspection, Inc.著 日経BPソフトプレス編

『ひと目でわかるPowerPoint Version 2002』

(日経BPソフトプレス)

皆さんは「PowerPoint」を使っていますか？ワープロソフトである「Word」や表計算ソフトである「Excel」を使っている方は多いことと思います。「PowerPoint」はプレゼンテーションソフトと呼ばれるもので、レポートやプレゼンテーションの資料作成に大いに役立つソフトです。パソコンを利用しているスライドショー機能を搭載していることから、一般社会でも講演会や企業の各種説明会などで頻繁に利用されています。ただ、多機能であるがゆえに「Word」や「Excel」に比べると馴染みやすいソフトでないとも言えます。

本書はこのソフトを開発しているマイクロソフト社の公式解説書であり、プレゼンテーションの作成の仕方を各章ごとにわかりやすく説明しています。基本操作はもちろんのこと、少し高度な使い方も紹介していますので、今まで全く「PowerPoint」を使ったことが無い人にとっては入門書として、既に使っている人にとっては新たな使い方を発見し、また基本操作を再確認する一冊として活用することができます。

「PowerPoint」は一般社会においては「Word」、「Excel」に並ぶ重要なソフトです。大学生活の間にもソフトの使用方法をマスターしておけば、社会に出た時に大きな力となります。パソコンの使用に関するスキルアップを図るためにも、本書を片手に「PowerPoint」にチャレンジしてみてください。

(管理運営課 宮杉 浩)